

都市計画マスタープラン策定委員会（第8回）会議要旨

日時：令和4年6月29日（水）15：00～15：40

場所：白老町役場 第2会議室

出席者：竹田委員長、古俣副委員長、下々村副委員長、鈴木副委員長（リモート）、
中野委員、千葉委員、鴻野委員、牧野委員、倉地委員、北平委員、小林委員
計11名

事務局：富川課長、温井主幹、熊谷主幹、坂本主任

1 白老町立地適正化計画について

○ 事務局から説明

○ 質疑・意見

■ 第5章 誘導施策・届出制度

【鈴木副委員長】

・ P5の公共交通に関する施策において、M a a Sの文言訂正をお願いしたい。

■ 第6章 計画の実現に向けて

【鈴木副委員長】

・ P3の居住誘導に関わる指標において、通常、コンビニの立地に必要な人口密度20人/haが1つの目安とされているが、目標値を現状維持（17.17人/ha）と設定した根拠を教えてください。

⇒ 現状値はR2国調において導き出した数値です。目標値を20人/haとしない理由としては、H27、R2国調ベースでの人口密度（20人/ha→17.17人/ha）の変遷を考慮し、減少傾向にあることから、現状維持としました。

【倉地委員】

・ コミュニティバス利用者数の現状値35,921人は、現時点で目標を達成しているのか。

⇒ 年間25,500人の利用者を目指しており、現時点で目標は達成していません。

【牧野委員】

・ 自主防災組織の結成率については、単に率を上げれば良いのではなく、結成後の活動内容の充実が大切である。

【鈴木副委員長】

・ 防災に関わる指標として、結成率だけではなく、防災意識の高まりを測る指標も設定してはどうか。今後の見直しの中で検討いただきたい。

2 その他

○ 事務局から以下について説明

・ 第2次白老町都市計画マスタープランの答申について

6月24日（金）白老町都市計画審議会により答申を受ける

・ 町民説明会の開催について

7月26日（火）～28日（木）、8月1日（月）～3日（水）計6日間

・ 立地適正化計画の今後の策定スケジュールについて

今回の委員会で原案のとりまとめは終了、年内成案化に向けて取り組む